

令和5年度 豊田市環境審議会 第1回専門部会（自然共生社会） 会議録

【日時】 令和5年7月4日（火）午後1時25分から3時30分

【場所】 豊田市役所 環境センター5階 環51会議室

【出席者（部会長以下五十音順）】

部会長 増田 理子 （名古屋工業大学 社会工学専攻 教授）

篠田 陽作 （ネイチャークラブ東海 代表）

山内 徹 （市民公募）

渡部 教行 （豊田市自然愛護協会 会長）

（事務局）環境政策課 塩谷課長、山内副課長、弘中担当長（ほか）

【欠席者】 なし

【傍聴人】 なし

【次第】 1 部会長挨拶

2 議題

環境基本計画の自然共生社会における前年度取組について（協議）

次第

1 部会長挨拶

2 議題

環境基本計画の自然共生社会における前年度取組について（協議）

部会長	事務局から議題について説明をお願いします。
事務局	（配布資料「資料 1～3」について説明）
部会長	施策【2.1】の事務局説明及び評価について意見等あるか。
委員	新型コロナウイルス感染症の影響について、今年度の事業は影響なく評価できそうか。
事務局	評価できていると考えている。現在、豊田市自然観察の森では小学校の対応等を制限なく実施している。
部会長	施策【2.2】の事務局説明及び評価について意見等あるか。
委員	サイエンスミュージアムネットに登録される標本の数について、標本はあり、登録がなされていないということか。
事務局	登録できる状態の標本は既に登録が済んでいるが、収集されたままの状態のものがあり、分類し、標本として管理できる状態にするまでに時間がかかっている。 これまで市としてどのように標本を受け入れるかという基準がなかったこともあり、これを含め標本の管理方針を現在策定している。
委員	標本庫の管理について、博物館を含めどのような体制で進められるのか。今後どのように標本を受け入れるかが分かれば、協力者の対応も変わると思う。現在検討がなされている途中だと思うが、見えるように進めてほしい。
事務局	標本を適切に管理するため、博物館等と連携し、標本を一体的に管理する方法を検討している。管理方法の検討の中で、標本採集に協力していただける関係者にも意見を聞いていきたいと思っている。
委員	標本の収集は難しく、ある程度収集する分類群等がはっきりしていないと、毎回同じ種が採集される傾向がある。計画的な収集が必要ではないか。
委員	市民参加の生き物調査について、パンフレットを作成・配布して終わりではなく、どのような生き物を探すべきか、調査結果がどうなっているか等、発信すると、生き物探しをする側が取り組みやすいのではないか。
事務局	市民参加の生き物調査については、現在は多くの人が自然にふれあうきっかけになることを目的に実施している。一方、調査対象種を絞り、調査にはっきりとした目的を持たせることも取り組みやすい方法であるため、今後、実施方法について検討する。 また、標本の収集については、市内の確認種リストがあると計画的な収集に繋がると思われる。今年度、既往調査の確認種リストを整理して公開したい。
委員	標本の受け入れについては、例えば、ラベルを付けたもののみ受け入れる、というようにしないと、整理に時間がかかりすぎる。
委員	受け入れる標本は情報が整理されていれば良いと思うが、これも専門知識のある人により行われるべきである。標本をどう管理していくかということについては、しっかりと検討をお願いします。

事務局	博物館や矢作川研究所と連携して、標本の管理方法や活用について検討していく。
委員	標本の整理は時間がかかり大変だが、行政主導で引き続き標本の収蔵及び管理を維持して欲しい。
部会長	施策【2.3】の事務局説明及び評価について意見等あるか。
事務局	現状、保全団体数を増やすのは難しい。施策の方向としては既存団体をいかに継続させるかを重視している。
部会長	施策【2.4】の事務局説明及び評価について意見等あるか。
委員	間伐事業は、現計画最終目標の2025年度に終わらず、また以前間伐した箇所をさらに間伐していく、という認識で良いか。
事務局	第4次森づくり基本計画において、過密人工林の一扫を2032年度に達成する目標を立てており、現在間伐を強力に実施している。 また、森林を健全な状態に維持するためには、定期的に間伐を実施する必要があるため、2032年度以降も引き続き間伐を実施していく予定である。
委員	天然林面積をどれだけ確保するのか、ということも指標として必要ではと思う。
事務局	目標値などがあるかどうか確認する。
委員	山間部の集落では所有者のわからない森林が増えていると聞く。森林が放置され不法投棄の現場等にならないようにしてほしい。
事務局	間伐事業では、集落不在の森林所有者にも同意を取りながら間伐を進めている。
部会長	愛知県は全国的に見て森林の管理が行き届いている。 各自治体で管理がなされている。今後も継続して進めてほしい。
部会長	施策【2.5】の事務局説明及び評価について意見等あるか。
委員	マッチングが進んでいない状況について説明をお願いします。
事務局	新型コロナウイルス感染症の影響で、団体の活動や中止や縮小されるなかで、企業の動きも少なかったものと思われる。
部会長	全体を通して意見等はあるか。
委員	新型コロナウイルス感染症のような感染症は振り返ってみると歴史的に何度もある。これで終息しても、次の感染症がまん延する可能性がある。一方で環境に関する取組は止めてはいけないと思う。感染症がまん延していたとしても、実施できるような取組を検討してほしい。
部会長	施策管理シートについては、この内容で確認した。本日の協議は以上とする。